

# 研究の実施に関する情報公開

令和元年 9 月 6 日

鹿児島医療センターでは、倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

皮膚有棘細胞癌の修正切除範囲と予後に関する後方視的観察研究 Correlation between modified surgical margins and prognosis of cutaneous squamous cell carcinoma: A multi-institutional retrospective study
1. 研究の対象 2014年10月から2019年4月30日までに皮膚原発有棘細胞癌の初回治療として手術を受けられた方
2. 研究目的・方法・期間 有棘細胞癌は皮膚癌の一種で、日本人では高齢者の顔面に発症することが多いです。現在、本邦のガイドラインでは4-6mm以上離して切除されることが推奨されていますが、顔面では大きく離して切除することが難しいことも多いです。本研究では当院を含め10施設で、有棘細胞癌の切除範囲を狭くした場合の予後に関して検討し、今後切除範囲の縮小が可能か検討することを目的としています。診療録や検査情報から情報を抽出して情報を解析します。情報は個人を特定できないようにしてから解析します。収集するものは診療記録と検査データです。研究実施期間は、倫理委員会承認日から2021年3月31日までです。
3. 研究に用いる試料・情報の種類 診療情報: 診療記録、検査データ
4. 外部への試料・情報の提供（複数施設研究の場合記入） 研究にご協力頂いた個人が特定されるような情報は厳重に保護され、外部に出されることはありません。ただし、得られた研究の成果は、提供者本人やその家族の氏名などが明らかにならないようにした上で、他施設へ提供されたり、学会や学術雑誌及びデータベース上で発表されることがあります。
5. 研究組織（複数施設研究の場合記入） ・ 埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科 馬場夏希（研究代表者）、中村泰大、山本明史、寺本由紀子、佐々木克仁 ・ 福井大学皮膚科 飯野志郎、長谷川稔 ・ 群馬大学医学部皮膚科学教室 齋藤晋太郎、安田正人、石川 治 ・ 旭川医科大学皮膚科 松谷泰祐、土井春樹、山本明美 ・ 独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター皮膚腫瘍科 松下茂人、青木恵美 ・ 埼玉県立がんセンター皮膚科 石川雅士、大芦孝平 ・ 名古屋市立大学皮膚科 加藤裕史 中村元樹 森田明理 ・ 京都府立医科大学皮膚科 浅井 純 加藤則人 ・ 滋賀医科大学皮膚科 藤本徳毅 加藤 威 田中俊宏 ・ 福井県済生会病院 皮膚科 八代 浩、長谷川義典
6. 利益相反

ありません

#### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

鹿児島市城山町8番1号 鹿児島医療センター

TEL 099-223-1151 FAX 099-226-9246

施設研究責任者：皮膚腫瘍科・皮膚科 松下茂人

